静内アイヌ頭蓋の眼窩下孔の副孔について

中 根 文 雄
なか ね ぶん お

北海道大学歯学部 解剖学教室*

〔受付: 昭和46年9月9日〕

緒 言

眼窩下孔及び副孔については従来、人類学的に、また比較解剖学的に大槻¹⁾, ADACHI²⁾, RIES-ENFELD³⁾, 寺沼⁴⁾などの報告がみられる。アイヌに関しては寺沼⁵⁾の北海道アイヌ(八雲アイヌ59, 長万部アイヌ19, 浦幌アイヌ28, 落部アイヌ44)の詳細な研究がみられる。1956年、北海道静内町におけるアイヌ墓地発掘に参加して得た頭蓋骨を調査する機会を得たので眼窩下孔及びその副孔の出現率、位置、大きさ、相互関係などを検索した。

研究資料と方法

研究資料は静内町において発掘したもので、観察部位に損傷のないもの男性66個、女性44個、計110個である。眼窩下孔及びその副孔について次の測定を行った。

1. 孔の大きさ: 孔は殆ど全部が楕円形なので、両側端の最大直線距離を長軸とし、これに垂直な最大直線距離を短軸とする。

2. 両孔の最短距離: 左右両孔の内側端を結ぶ直線距離。

3. 眼窩下縁よりの距離: 孔上縁中央点より正中矢状面に平行に引いた線が眼窩下縁と交る点までの直線距離。

4. 梨状口外側縁よりの距離: 孔縁と梨状口外側縁との最短直線距離。

5. 歯槽よりの距離: 孔上縁中央点を通り、これより正中矢状面に平行な直線が歯槽縁と交る点

までの最短直線距離。

観 察 所 見

第1項 眼窩下孔について

1) 孔の大きさ: 孔は殆ど全部楕円形のため、長軸及び短軸を計測した。男性は右側60, 左側63, 女性は右38側, 左39側について観察した。長軸: 男右側においては2.9—9.1mmで平均5.22mmである。男左側では2.1—7.8mmで平均4.96mmである。女右側においては2.3—7.1mmで平均4.47mmである。女左側では3.1—7.9mmで平均4.58mmである。短軸: 男右側においては1.9—7.5mmで平均3.16mmである。男左側では1.0—6.2mmで平均3.30mmである。女右側においては1.1—4.9mmで平均2.70mmである。女左側では1.4—3.5mmで平均2.65mmである。すなわち長軸、短軸共に男性は女性よりも大きく、左右差は殆ど認められない。

2) 両孔の最短距離: 男58例, 女33例について観察した。男性は40.3—60.9mmで平均51.25mmであり、女性では44.0—55.9mmで平均47.70mmである。すなわち男性は女性より3.55mm長い。

3) 眼窩下縁よりの距離: 男性右60側, 左62側, 女性右38側, 左39側について観察した。男右側3.9—9.5mmで平均6.51mmである。左側4.1—10.8mmで平均6.65mmである。女右側3.2—9.3mmで平均5.83mmであり左側3.1—10.8mmで平均5.59mmである。すなわち本距離は男性は女性よりも大である。

On the accessory foramen near infraorbital foramen in Ainu skulls (SHIZUNAI)

F. NAKANE (Department of Anatomy, Hokkaido University, School of Dentistry, Sapporo)

* 札幌市北13条西7丁目(〒060)

Jap. J. Oral Biol. 13: 504-506, 1971.

4) 梨状口外側縁よりの距離：男性右59側，左62側，女性右38側，左39側について計測した。男右側 7.2—19.2mm，平均 13.33mm であり，左側 5.5—19.2mm，で平均13.95mmである。女右側 7.1—19.8mm で平均 13.72mm，左側7.4—17.1mm で平均13.15mm である。

5) 歯槽縁よりの距離：男性右58側，左63側，女性右38側，左 39 側について計測した。男右側 30.5—41.1mm で平均33.92mm，左側31.0—44.1mm，平均 33.87 mm である。女右側26.1—36.1mm で平均 31.98mm，左側24.1—36.1mm で平均31.42mm である。

第2項 副孔について

眼窩下孔の副孔は眼窩下孔の内方に位置し常に眼窩下管或は眼窩下溝に交通している。片側1個で2個以上のものは認められない。

1) 出現頻度：男性60例，女性38例について観察すると副孔の認められるものは男性では左側60側中18側30.0%，右側60側中7側 11.66%，合計120側中25側20.83%である。女性では左側38側中6側15.78%，右側38側中4側10.52%，合計76側中10側13.15%である。すなわち男性が女性より出現率が高く，左側が右側の約2倍の出現率である。以上の出現例のうち6例（男3，女3）は左右両側に出現し左側のみのものは18例（男15，女3），右側のみのものは5例（男4，女1）である。すなわち観察頭蓋数に対する出現頻度をみるに，左右両側出現のものは男性60例中3例 5.0%，女性38例中3例 7.89%，合計98例中6例，6.12%である。左側のみに出現するものは男性60例中15例，25.0%，女性38例中3例7.89%，合計98例中18例18.36%である。右側のみに出現するものは男性60例中4例 6.66%，女性38例中1例 2.63%，合計98例中5例5.10%である。さらに左右別を考慮せず，単に副孔の出現する頭蓋の観察頭蓋に対する出現頻度は，男性60頭蓋中22頭蓋36.66%，女性では38頭蓋中7頭蓋18.40%で合計98頭蓋中29頭蓋，29.59%である。

2) 孔の大きさ：男性右7側，左18側，女性右4側，左6側について観察した。長軸：男右側 1.1—2.3mm，平均1.54mm，左側 0.2—5.1mm

で平均2.10mm である。女右側 0.4—4.1mm，平均1.86mm，左側 0.1—2.0mm 平均 1.45 mm である。短軸：男右側 0.1—2.2mm 平均1.07mm，左側0.1—3.5mm 平均 1.19 mm である。女右側 0.1—1.9mm 平均1.20mm，左側0.1—1.5mm 平均1.10mm である。すなわち男性では長軸，短軸ともに左側が右側より大きく，女性では右側が左側より大である。

3) 両孔の最短距離：男3例，女3例について計測したが，男39.1—51.0mm 平均44.55mm，女33.9—44.1mm，平均42.7mm である。

4) 眼窩下縁よりの距離：男右7側，左18側，女右4側，左6側について計測すると，男右 2.8—8.2mm，平均5.32mm，左 2.5—7.5mm 平均 5.18mm である。女右3.1—6.1mm，平均 4.34mm，左 3.1—5.5mm 平均 4.15mm である。

5) 梨状口外側縁よりの距離：男右7側，左18側，女右4側，左6側について計測した。男右 4.5—14.3mm，平均8.81mm，左4.8—19.2mm 平均9.74mm である。女右8.2—11.5mm 平均9.52mm，左7.1—9.3mm，平均8.35mm である。

6) 歯槽縁よりの距離：男右7側，左18側，女右4側，左5側について計測した。男右 33.1—43.1mm，平均37.45mm，左32.2—48.5mm 平均 37.91mm，である。女右27.9—33.8mm，平均 32.40mm，左27.3—37.2mm 平均33.04mm である。

結 論

1) 静内アイヌ頭蓋における眼窩下孔は長軸，短軸ともに他の部落アイヌの成績（寺沼）より小である。

2) 副孔は地方によりその出現頻度に差が認められ静内アイヌは浦幌アイヌより低率であるが長万部，八雲，落部アイヌより高率である。なお邦人（寺沼27%）よりも高率である。

3) 副孔は常に1側1個のみである。その位置は眼窩下孔の内上方に限られていた。

文 献

1) 大槻嘉男：邦人眼窩下孔について，金沢医科大